# 太宰府中学校3学年だより

№14　　R4.10.24　　文責：3学年主任

## 太宰府中の文化が見事にCONNECTされた、すばらしい文化祭でした。

合唱コンクール結果

🏆3年1組「信じる」espressivo賞　🏆3年2組「証」最優秀賞　🏆3年3組「虹」grazioso賞

秋深まる穏やかな20日・21日、中学校生活最後の学校行事である「文化祭」が行われました。

コロナ禍で様々な制限がかかる中でも、中学校生活最後の合唱コンクールを「もう、この仲間で歌うことは二度とないからお互いに頑張りあって、良さを讃え合い、最後の合唱コンクールをよりよい思い出にしよう。」という思いで、スタートしました。

約1ヶ月前から始まった練習では、音楽の授業でどのクラスも旋律は把握していたものの、これからハーモニーを整えるうえでは、まだまだの状態で、あせりと不安からのスタートでした。連日声を張り上げるリーダーと担任の先生の熱意によって、だんだん合唱らしくなってきました。音楽のY先生の熱心な指導で、音楽の授業があるたびにどんどん上手になっていく「成長」を、いつも楽しみにしていました。

3年生の合唱曲は非常に難度が高く、その上歌詞に込めた思いをハーモニーで伝える技術も要求されます。合唱の完成度が高まるにつれ発生する新たな課題、リーダーとフォロワーとの間に起こるトラブルもあり、「思うように行かない」もどかしさを何度となく味わったと思います。

1回目のリハーサルは、どの学級も完成まで「まだまだだ」という課題がたくさん見つかりました。しかし、Y先生からの的確なアドバイスをもとに練習した週間後のリハーサルでは、前回とは見違えるようなできばえで、まさに「右肩上がりの急成長」を見せました。まさに学級どうしが「切磋琢磨（学問をし、徳を修めるために、努力に努力を重ねること。また、友人どうしで励まし合い競い合って向上すること。）」しあう姿がそこにありました。

そして、迎えた本番。1、2年生の合唱が終わり、緊張も高まる中、いよいよ3年生の出番。各学級が直前練習で気合いを入れてステージに上がりました。

最初の1組の歌声は、自分を、仲間を信じあう思いを朗々と歌い上げ、観衆をぐっと引き込みました。

3組の歌声は、虹に喩えた明るい未来をきらびやかに歌いこなし、会場を明るく照らしました。

2組の歌声は、お互い新たな道に進んでも、ずっと仲間である証を伸び伸びと歌い、皆に希望を与えるような、大トリに相応しい歌声でした。

聴いている後輩は、食い入るように先輩の姿を見ていました。保護者席では、涙を拭く姿が多く見られました。

審査にあたった先生方は、深いため息と共に「これは審査できない（くらい甲乙つけ難い完成度だ）…」と唸っていました。

文化祭では、合唱コンクールだけでなく、ステージ発表や作品展示など様々な催しがありました。

作品展示では、美術の授業で制作した作品や、美術部の共同制作やポスター、3年生の総合学習で制作した「太宰府のイメージ画」など多数の力作が展示されて、見る人を感心させていました。

ステージ発表では、吹奏楽部の演奏・人権作文や英語スピーチの発表、3年生総合学習の発表、バトントワリングやダンスなどの参加もあり、例年にない、華やかなステージになりました。

さらに、宮城県多賀城市から中学生の親善大使が来て、多賀城市についての紹介がありました。

太宰府と多賀城は、ともに約1300年前の古代の遺跡です。太宰府は当時の日本の西の最前線で、大陸に対する防衛の役割を果たし、多賀城は北の最前線で、東北各地を管轄するとともに、朝廷の傘下に入らない蝦夷の住む地に支配を広げるための拠点でもありました。このため、両市は友好都市として数年前から交流活動を行っており、定期的にお互いが訪れて交流を深め合っています。

紹介の中では、11年前の東日本大震災にも触れていました。建物や被災した人々の心にも大きな傷跡が残る中、復興に向けて活動する姿には、見ていた皆さんも、胸に刺さったことでしょう。決して忘れてはいけないことだと改めて感じました。

最後の閉会式では、音楽科のY先生から皆さんへ「さすが3年生、君たちの姿に感動しました。すばらしい合唱を聴かせてくれてありがとう。」とお褒めの言葉をいただきました。

「子どもたちが皆で力を合わせて精一杯頑張ると、思わぬ力を出し、奇跡をも生む」

体育祭や今回の文化祭といった学校行事がどうしてすばらしいのか、それは行事を通して生徒が頑張ることで、思わぬ力が出て、奇跡や感動が生まれるからなのです。

それは、ひとりの頑張りでは絶対生まれないものです。

行事には表彰がつきますので、目標としていた「最優秀賞」がとれなかった悔しさもあるでしょう。

しかし、皆さんは、それを越えて、最上級生としての「あるべき姿」を見せ、「太宰府中学校・ここにあり」というすばらしい伝統を後輩達や地域に伝え、つなげてくれました。

この宝は次の目標に生かすことでさらに磨かれます。

次の目標はいよいよ「進路の実現」です。これもひとりではできないことです。皆で手をつないで、最も高い「壁」を乗り越えていきましょう。

最後に、文化祭の成功に向けて中心となって活躍した実行委員長のOさん、Aさんをはじめとする実行委員の皆さん、文化祭リーダーの皆さん、皆さんの頑張りが大成功の原動力になりました。本当によく頑張りました。お疲れ様でした。

保護者の皆様

中学校生活最後の行事である「文化祭」が終わりました。

当日に至るまで、各学級とも様々な苦労がありましたが、子どもたちは、自分たちの力で良さと持ち味を開花させ、どの学級も見事な合唱をつくりあげることができました。これもひとえに、保護者の皆様の暖かい励ましのお蔭です。ありがとうございました。

次の目標はいよいよ「進路の実現」です。文化祭で得たそれぞれの「宝」を、この目標の達成に向けて生かして欲しいと願っております。

11月1日（火）は第2回学力診断テスト、10日（木）・11日（金）には後期中間考査、そして11日（金）の15時半からは進路説明会が行われます。

次の目標に向けて、子どもたちがまっすぐ歩み出せるよう、重ねてご支援下さいますよう、よろしくお願いいたします。